

# 2024年度・第5回未来会議(全体会)議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)副会長(会長代理) 黒部 實  
副会長兼書記・広報 伊藤 智子

日時: 2024年8月18(日)13:30~15:40

場所: いきいきホール大会議室

出席者(順不同、敬称略):

黒部 實(副会長)、伊藤 智子(副会長・書記・広報)、鎌田 卓(事務局長・会計)、  
中世古 昭一、黒田 勝行、塚本 麻由、山田 修、渡辺 昇、  
オブザーバー: 中尾 節子  
欠席: 山田 勲

配布資料:

- ① 令和6年度第5回(8月)未来会議(全体会・分科会)議題(案)
- ② 鹿ノ台中央公園での子どもイベント開催のお知らせ
- ③ 「鹿ノ台中央公園水遊び」チラシ
- ④ 「みんなで月見と手作りランタン絵付け体験」チラシ
- ⑤ 第2回 鹿ノ台春まつり「開催のお知らせと出演・出店・参加の募集ご案内」
- ⑥ コンサート出演者募集要項
- ⑦ マルシェ・フリーマーケット出店募集要項
- ⑧ 同好会 模擬演技 出演募集要項
- ⑨ 会場での創作活動 募集要項
- ⑩ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 乗車実績(人数) 月別累計
- ⑪ R6年6月度 鹿ノ台コミバス乗車実績
- ⑫ 鹿ノ台春まつり実施 工程表(素案)
- ⑬ 鹿ノ台 春まつり 準備事項チェックリスト V6

## 今後の未来会議の進むべき道について

会長代理: 7月に連合会長が未来会議を退任された。理由は、連合会と自治会全体を見直す作業に専念するため、すべての委員会等の活動から退きたいとのことであった。未来会議としても、本年度は自治会の今後のあり方について検討する予定にしていた。しかし、連合会長が12月頃に改革案(たたき台)を提示されるということなので、未来会議としては今後の全体会の活動はそれまで一旦休止し、その間(9月~11月)は分科会活動(春まつり実行委員会・子育て分科会)に集中することとしたい。

意見: 未来会議も鹿ノ台全体のことを考えてきており、連合会と表裏一体で活動していく予定だった。しかし、今回は連合役員会だけで改革のたたき台を作成されるということなので、未来会議の存在意義が問われる状況となっている。

意見： たたき台作成の過程において、連合役員会からは適宜それぞれの委員会にご報告をして頂き、意見調整をしていって頂くよう、お願いしたい。

意見： 連合会の最高意思決定機関は、「連合総会」である。これまで「総会」を代替する形態として「住民投票」または「分散会方式」で意思決定を行ってきた。そこまでする必要がないと判断した議案については連合役員会で決定してきたが、その決定に影響を受ける組織・活動の当事者とは事前協議が不可欠だと考える。

意見： 連合役員会では今年度、各委員会に関係する内容であっても関係者に事前協議がないまま議決され、議事録に掲載されることがあった。いったん連合会の議事録に掲載されると、周知の事実となってしまうので注意していただきたい。内容に間違いも散見されるので、議事内容、議事録の作成方法について改善をお願いしたい。

意見： 事業仕分けの決定を行う際には、必ず価値観の衝突が起きる。価値観が変わっていくことに皆がある程度承服せざるを得ないという納得のプロセスが必要であり、これが不十分だと禍根が残ることになる。そうならないためのプロセスを構築していく必要がある。未来会議で手伝えることはないだろうか。

意見： 民主主義の欠点は時間のかかるところだが、その時間を惜しんではいけないと思う。人の意見を聞くことは大切であり、たたき台を企画検討委員会のような場を組織してもんでいく必要があるのではないかと。単年度で交代する連合役員会でだけ話し合い、決定する予定なのだとすれば、それは拙速ではないか。まずはそれぞれの委員会・組織と話すことが大事だと思う。

意見： 自治会員から選出された連合役員会の方針は尊重すべきだと思うが、他方で、自治会及び連合会の意思決定のルールとカタチが適切であるかどうかを常に精査していく必要があるだろう。

⇒連合役員会が、各委員会と十分な話し合いを行った上で「たたき台」が作成されることを希望し、「たたき台」が出来上がる12月頃までは、未来会議の全体会は短縮した形で実施することを決定した。具体的には、連携委員の山田勲さんから「たたき台」作成過程の状況について報告を受けることと、これに対して未来会議メンバーの意見を山田さんにお伝えすることを全体会の内容とする。春まつり実行委員会と子育て分科会については、開始時間を早めてこれまで通り実施していく。

## 子育て分科会

### 水遊びイベント;

9月14日(土)10:00~13:00、中央公園にてビニールプールを持ち寄って未就学児向けのプールイベントを実施する。主催は未来会議子育て分科会だが、数人のボランティアで実施するため、呼び掛ける範囲は「中央公園ワークショップ参加者 LINE グループ」からの口コミ程度とすることを前回決定した\*。イベント保

険には加入する方向で話を進めている。（\*その後、分科会にて、いきいきホールキッズ&シニアルームにチラシ掲示のお願いをすることとなった。）

### お月見会:

翌日の9月15日(日)18:30~19:30には、中央公園で「お月見会」を実施する。主催は昨年の中央公園ワークショップ参加者のグループによる「未来会議子育て分科会有志」とし、こちらも呼び掛ける範囲は「中央公園ワークショップ参加者LINE グループ」からの口コミ程度とすることを前回決定した。本日午前には有志数名で当日子どもたちに絵付けをしてもらうペットボトルのランタンを作成した。

これら連日のイベントについては本日、中央公園周囲の住民の皆さんにはお知らせとご理解のお願いのお手紙を配布する。

## 鹿ノ台春まつり

春まつりでイベントを実施したい方々に向けた募集のお知らせを9月に回覧する。それぞれのイベント種類ごとに募集要項を作成した。種別は、①コンサート、②マルシェ・フリーマーケット、⑤同好会・模擬演技出演、⑥会場での創作活動の4種類である。応募用紙は10月2日以降、いきいきホール連合事務局で配布するので、これに記入して応募していただく。

キッチンカーは8台から10台に増やす方向で設置場所等を検討していく。

保険についても、自治会保険で行くのか、イベント保険をお願いするのか精査していく。

意見：春まつりの実施にあたっては、次回(第3回)からは未来会議から独立し、「春まつり実行委員会」という形で実施して欲しい。

⇒次回から実行委員を公募していったら良いだろう。

意見：サポーターを応募したらどうか。

⇒企画から参加して頂くのではなく、当日の午前または午後という時間限定で、やっていただく仕事を明確にして1月頃に募集することとなった。

意見：音響の予算が数千円程度と、少なすぎて実現不可能である。増額できないか。

⇒予算を大幅に増やすのは難しい。いきいきホールの機材を利用するなど、何とかやりくりして欲しい。

## コミバスの乗車促進キャンペーンについて

会長代理： これまでコミバスの乗車促進キャンペーンを「いそかわ」にお願いし、何度か行っていただいた。今回効果が絶大であったのでお礼に「いそかわ」を訪問した際効果が絶大なら鹿ノ台の地域貢献の為今後1年間通して、このキャンペーンを継続して実施しても良いとありがたい提案があった。そこでお互いに確認書を取り交わす事になった。確認書のたたき台を連合会に提示したら連合会から、①「いそかわ」の商品券に交換するためにコミバスの乗客に渡す「補助券」を連合会コミバス委員会が作成すべきか②補助券に期限を記さないのは商法違反ではないか。との疑義があり、連合会長とコミバス委員会で確認書のすり合わせにいそかわ本部へ出向く事となった。

意見： 今回は 4 回目のキャンペーンとなるがキャンペーンを始める当初から、補助券は当方(連合会、コミバス委員会)で作成するので「いそかわ」には補助券10枚でいそかわの買い物券(500円)と無償で交換をお願いした。両方で役割を分担してこのキャンペーンを成功させたいとの意思であった。「いそかわ」には地域貢献の為ご協力して頂いた。

意見： 地域公共交通は自治体・事業者・地域住民が三位一体で運営していくものだ。コミバスが運行している地域は少なくないが、本格運行の開始以後も地域の人が積極的に活動している地域は県下にも鹿ノ台の他にはないので、注目されている。この「いそかわ」のキャンペーンはまさにその例であり、アピールすべきものである。

## 次回

日時： 2024年9月15日(日) 13:30~16:00  
第I部 全体会 13:30~14:30  
第II部 分科会 14:30~16:00

幹事は13:15集合

場所： いきいきホール大会議室

以上